

令和元年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
(県南地方振興局)											
1	新規	観光振興	県南地方狛犬の里づくり	福島県県南地方狛犬ネットワーク	ソフト	781	514	県南・県中地方において、明治時代に活躍した小松利平、小松寅吉、小林和平の子弟三代石工が制作した狛犬は、他に類を見ない独創的なデザインで近年注目が集まっている。そこで、狛犬を観光資源として広くPRし交流人口の拡大を図るとともに、歴史的文化的財として保存活動の意義を高め後世に伝承した。 ○狛犬セミナー ○狛犬見学会 ○狛犬及び石造物見学マップの作成 ○狛犬案内人養成講座	H31.4.1～ R1.12.5	白河市	
2	新規	教育・文化	芭蕉白河の関俳句賞事業	芭蕉白河の関俳句賞実行委員会	ソフト	1,443	602	松尾芭蕉が白河を訪れて330年の節目の年に、多くの風流人が憧れた歌枕の地「白河」を題材とした俳句を募集した文芸賞を開催する。地域の文化芸術資源を再確認し、文芸文化の向上を図るとともに、歴史・史跡等を全国にPRすることで交流人口の増加に寄与した。 ○俳句の募集 ○俳句教室の開催 ○作品選考 ○受賞者発表、表彰式、講演会	H31.5.15～ R2.3.24	白河市	
3	新規	交流・定住	白河市大信地域田舎体験都市交流事業	白河市大信地域交流促進協議会	ソフト	2,726	1,623	少子高齢化による産業の担い手不足の解消と東日本大震災の風評被害払拭を図るため、白河市大信地域の「農・食・自然・文化」等の資源を生かし、都市との交流や新たな魅力を創造することで、交流人口の拡大や地域産業の活性化を図った。 ○商品開発・販路開拓啓発活動事業 ・加工品の開発・商品化 ・首都圏での販路開拓調査及び分析検討 ○地域産品活用による「食」の提供と農村体験ツアー ・首都圏からの体験モニターツアー ・民泊推進受入育成研修 ・インバウンド訪日外国人受入に対する基盤整備	R1.7.1～ R2.3.24	白河市	復興関連事業
4	新規	観光振興	「聖ヶ岩ふるさとの森」聖坊の思い継承事業	聖ヶ岩ふるさとの森を守る会	ソフト	919	578	白河市の最西北端に位置し、平安時代、徳一僧の弟子といわれる聖坊(ひじりぼう)が祠に入り、地域の五穀豊穡と活性化を祈願したことから「聖ヶ岩」と名付けられた当地において、地域資源の活用や再発見を行う事業を展開し、聖坊の思いを継承した地域の活性化を図った。 ○権太倉山へ鞍上げ事業 ○「祭陽花ロード」復活事業 ○聖の宝さがし事業 ○「聖ヶ岩ふるさとの森」写真展 ○地域の安全で美味しい食材&澄んだ空気を丸ごと食べる事業	H31.4.1～ R2.2.12	白河市	
5	新規	交流・定住	ゴルフでしらかわを活性化させるプロジェクト	NPO法人ゴルフタウンしらかわ	ソフト	1,611	969	首都圏からのアクセスに優れ、費用も安価であるなど、プレー環境に恵まれている県南地方のゴルフ場を広くPRするため、SNSを活用した情報発信を行うとともに、県南地方におけるゴルフ人口増加につながる取組を行うことで、「ゴルフタウンしらかわ」を広くアピールし交流人口の拡大を図った。 ○ゴルフタウンしらかわPR事業 (PR動画作成・発信、首都圏イベントでのPR等) ○スナッグゴルフ体験会の開催	H31.4.5～ R2.3.31	白河市	

令和元年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
6	新規	観光振興	にしごう祭り	にしごう祭り実行委員会	ソフト	5,296	3,007	東日本大震災に伴う風評被害の払拭と、減少した観光客の回復を図るだけでなく、西郷村における課題である人口増加に起因する地域や人のつながりの希薄化や、村内企業の人手不足解消を目的に、平成30年6月にオープンした「まるごと西郷館」にて、特産品の販売や地域の産業体験、企業PR、文化団体による発表等を行うイベントの開催や、SNSを活用した地域の魅力発信事業を実施した。 ○にしごう祭り ○にしごうフォトコンテスト	H31.7.1～ R2.2.28	西郷村	復興関連事業
7	新規	交流・定住	うつくしま絆づくりプログラム	うつくしま絆づくりプログラム実行委員会	ソフト	1,283	537	移住者が子どもを含む地域住民や光南高校生とともに、陶芸教室などの芸術文化活動を行うことで、移住者間のネットワークの形成や地域住民との交流を促進させるとともに、子ども達や高校生が地域を知る契機となった。 また、移住者を対象に地域を巡るツアーを開催し、地域を知る機会を創出するとともに、移住者目線の地域の魅力の発見を図った。 ○アートスクール(漆芸、陶芸、絵画教室、作品展) ○矢吹町移住者による地域のお宝発見バスツアー ○地元産農産物と芸術を楽しむ会	R1.6.1～ R2.3.10	矢吹町	
8	継続2	観光振興	夢をHugくむ街、しらかわ	白河商工会議所青年部	ソフト	4,020	2,106	地域の賑わい創出と交流人口の拡大を図るため、県南地方の地域資源を生かし、白河市内外の子どものお年寄りまで、多様な世代が参加、交流するイベントを開催した。また、地域の将来を担う地元の小中高生に、地域の産品を活用した商品の企画・開発・製造・販売のプロセスを体験させることで、普段関わりのない大人たちと交流しながら、地域の魅力を伝えられる人材に成長することを促す取り組みを実施。 ○しらかわ夏祭り2019～はじまりの夏・挑戦～ ○やってみよう!ぼくらの屋台	H31.4.3～ R1.12.15	白河市	
9	継続2	産業振興	しらかわにぎわいプロジェクト	しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会	ソフト	1,197	589	独立店舗では起業が困難な人(起業家)に対し、セミナーや四季ごとに開催されるイベントに併せたチャレンジショップの開設などを通じて創業支援を行うことで、中心市街地の空き店舗で独立開業することを促し、街なかの賑わいを創出した。 ○チャレンジショップを組み合わせたイベントの開催 ○創業支援のための勉強会やセミナー、カルチャー教室の開催 ○空き店舗を巡るツアーの開催	H31.4.3～ R2.3.15	白河市	
10	継続2	人材育成	ふくしま県南地元企業説明会	ふくしま県南地元企業説明会実行委員会	ソフト	1,825	906	地域の将来を担う若者と地元企業とをマッチングさせる機会を創出し、雇用のミスマッチの解消による若者の地元企業への就職促進と地元企業の労働力確保を図った。 ○就職希望の高校生やその保護者を対象とした企業説明会の開催	R2.10.19～ R2.3.31	白河市	
11	継続3	交流・定住	風評払拭!ふくしまで農活	表郷いもの開発協議会	ソフト	504	280	首都圏在住者を対象に、「農活」と題して農業講座や農作業体験、収穫した農産物の販売を行い、県産農産物の風評を払拭や福島の実況の発信、交流人口の拡大を図った。 ○農作業体験・収穫(@白河市) ○マルシェ(@東京)	R1.5.10～ R2.3.16	白河市	復興関連事業
12	継続3	産業振興	白河ふれあいマーケット	公益財団法人白河観光物産協会	ソフト	1,568	757	白河駅前イベント広場において、6月から10月まで毎月日曜日に県南地方で収穫された野菜、果物、地場産品等を扱う生産者などにより朝市を開催することで、生産者と地域住民の交流、地産地消の推進、中心市街地活性化に取り組んだ。 ○朝市「白河ふれあいマーケット」 ○出店者間の意見交換会	H31.4.10～ R2.2.28	白河市	

令和元年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
13	継続 3	観光 振興	まるごと白河2019	まるごと白河実行委員会	ソフト	6,609	2,358	古くから市民や観光客に愛され、近年メディアでも注目されている白河ラーメンを、SNSを活用して全国に発信することで、白河市への来訪のきっかけをつくり、交流人口の拡大を図った。 また、県南地方の交流人口拡大及び観光誘客を図るため、地域の食や伝統文化、産業等が一堂に会するイベントを開催した。 ○白河魅力発信事業 ○まるごと白河2019	R1.6.1～ R2.2.21	白河市	
14	継続 3	観光 振興	しらかわ地域文化継承事業	白河まつり振興会	ソフト	2,546	1,047	昭和30年代から踊り継がれ、震災を機に復活を遂げた「白河関の踊り流し」へ、多くの地域住民や首都圏の若者等に参加してもらったことで、地域コミュニティにおける絆づくりや交流を図るだけでなく、市内外に伝統文化を発信した。 ○白河関の踊り流しの開催 ○元気夕市の開催	R1.6.1～ R1.10.31	白河市	
15	継続 3	その他	ご当地アイドルによる県南地域活性化事業	矢吹町バンド連合会	ソフト	1,777	832	県南地方のご当地アイドルを始め、県内外各地のご当地アイドルによる地域の魅力を発信するイベントの開催、SNS等による情報発信、通信紙の配布を通して県南地方を県内外へ広くPRするとともに、ご当地アイドルメンバーの目を通した本県の状況を伝えることで、震災による風評の払拭を図った。 ○地域イベントの実施(しゅんらん春まつり、Locodle Sonic!!等) ○県外における福島県特産品の販売・PR ○他被災地との連携イベントの実施 ○県内における県南地域PR	H31.4.3～ R2.3.8	矢吹町	復興関連事業
累計						34,105	16,705				